

リニアの玄関口に有害残土を持ち込まないで！

土曾川を越える橋の基礎に使用

JR 東海は、1月と2月に座光寺地区と上郷地区で説明会を開きました。その席で、突然に、リニア駅の工事に有害なヒ素を含んだトンネル残土を使うと説明しました。

使うのは土曾川と国道 153 号線をまたぐ高架の橋脚の基礎部分。土曾川が近くを流れています。川や農業用水の汚染が心配です。

安全性に疑問

JR 東海は、厚さ 1.5m のコンクリートで囲うので安全だと説明します。コンクリートの寿命はせいぜい 100 年。大地震によるひび割れなども心配です。JR 東海はいつまできちんと管理できるでしょうか？

市役所の役目は住民を守ること

JR 東海から事前に説明を受けた飯田市役所は、住民の意見を聞くこともなく受け入れを認めました。市民の健康や安全を守るのは市役所の大事な仕事です。危ない残土を使わなくても、安全な土砂はいくらでもあるはず。安全な土砂を使えば心配はないのです。

有害残土は重なる負担

上郷地区では、リニアと関連工事のために 250 以上の住宅や事業所が移転しました。そのうえ、有害な土砂を持ち込もうとする JR 東海の姿勢は横着すぎます。また、住民の意見を聞くこともなく受け入れた飯田市の姿勢は大問題です。

- ・ 飯田市に、有害残土を受け入れないよう求めましょう！
- ・ JR 東海に、有害残土の持ち込みの中止を求めましょう！

